

■ ローレンガウ



(1) ローレンガウ川既存取水堰（過去、2000年水需
要量を下回る流量が観測されている。）



(2) 既存取水施設（1940～50年代に建設され、老朽
化が著しい。）



(3) 既存送水施設（1台予備のシステムになってい
るが、老朽化により1台は故障しており使用できな
い状況にある。）



(4) 既存浄水場（Waterboardの予算にて1995年に
建設されたが、その後、配水管の漏水過多の理由
により運転されていない。）



(5) 既存配水池（1995年に建設され、容量約1,600m³
を有する。）



(6) 既存配水本管（老朽化が著しく、いたるところで、
ピンホールや修理箇所が確認される。）



(7) 既存配水本管（地域住民が本管に給水栓を直接接続し、利用している。）



(8) 既存配水本管（橋梁添架部分。新設橋梁が建設中であり、将来的に配水管も付け替えする必要がある。）



(9) 天水貯水施設（地域住民の多くが各世帯で設置し、飲料水として利用している。）



(10) 既存発電施設（ローレンガウより約20km離れたロス・ネグロス島海軍基地内に建設されている。）

■ゴロカ



(11) Zakozoi 川既存取水堰（この河川には流量観測所が設置されておらず、流量観測も実施されていない。）



(12) 既存導水路（石積や斜面が崩壊している箇所がみられ、水路底に堆砂が確認される。）



(13) 既存導水路暗渠部（半割コルゲート管を使用している。）



(14) 既存導水路末端調整池（調整池内に堆砂が確認される。）



(15) 既存導水管（旧発電施設の水圧鉄管路を使用しており、この地点で圧力調整している。現在、付近住民の憩いの場となっている。）



(16) 既存浄水場（2系統有しており、両系統とも稼動中。各系統の公称処理能力は不明であるが、規模から14,000 m^3 程度と推定される。）



(17) 既存浄水場ろ過池（ろ過砂は目詰まりを起こしており、入れ替え時期に差し掛かっている。）



(18) 浄水場敷地内ワークショップ



(19) 既存浄水場内水質検査室（浄水場内ではpHのみ検査しており、凝集材注入量は目視にて濁度を確認し決定している。）



(20) 汚泥放流先（地域住民が放流先の小川を利用している。）



(21) 既存配水池（現在 2 基あり、貯水量は各々、 $2,300\text{m}^3$ 、 $4,600\text{m}^3$ となっている。写真は $4,600\text{m}^3$ 。）



(22) ゴロカ周辺の村落（現在、ゴロカ給水網から村落にも供給しており、給水形態はスタンド・パイプ方式が多い。）

■ マダン



(23) マダン浄水場 (ADB 融資により 2000 年 3 月に完成した。)



(24) Waterboard マダン事業所 (事業所玄関横の水道料金支払い窓口)



(25) Waterboard マダン事業所ワークショップ (サービス管及びバルブを調整中)



(26) Waterboard マダン事業所ワークショップ (PVC 管保管ヤード)

■ ポート・モレスビー



(27) 本邦の無償資金協力により 1994 に建設された送水管管路 (水管橋)



(28) 本邦の無償資金協力により調達された取水ポンプ